



# うちのイチ押し!

今月号に掲載している講座・イベント・展覧会の詳しい内容を、その事業の担当者が直接PRするコーナーです。  
今回ご紹介するのは総合生涯学習センターの連続講座「大和川の自然～きたない川?にもこんなんいるで～」です。



## 大和川にも生き物がいっぱいいるって、ホント?!

奈良県を源流に、大阪市と堺市の間を流れる一級河川・大和川。残念ながら「きたない川」というイメージが強いこの川ですが、それでも力強くかつしたたかにたくさんの生き物が生きていることをご存知ですか?



堺市浅香山のそばを流れる大和川

大阪市立自然史博物館では、2002年秋から5年にわたり150名を超える市民のみなさんとともに大和川に生息する生き物や環境

について調査を重ねてきました。その調査の結果、清流にすむといわれるホタルやアユをはじめ、絶滅を危惧されている生き物もいることがわかりました。

今回の講座では、その調査結果や映像などをまじえながら、

第1回目は「大和川ってどんな川?大和川のすみからすみまで」、第2回目から6回目は、大和川流域にすむ昆虫や貝、魚や動物、花などについて、それぞれの



マツカサガイなど水路に暮らす貝たちも絶滅が心配されています

上記の事業は、平成18年1月に新たに策定された「生涯学習大阪計画」に基づいて始まった「ネットワーク型市民セミナー」の一環で実施します。この事業は、市民のみなさんの暮らしに必要な現代的・社会的な課題について大阪市とともに考え、学びあうもので、総合生涯学習センターや市民学習センターを会場に、年間を通じて実施しています。ご期待ください!

分野の専門家である自然史博物館の学芸員が解説します。

「きたない川」と呼ばれてきた大和

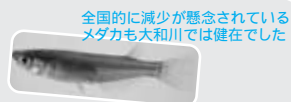
川ですが、この数十年の努力によって、次第にその生態系は豊かになってきています。この講座を通じて、大和川の生態や自然について学び、私たちの身近な自然環境を見直す機会にしてみませんか?

(文:総合生涯学習センター写真:自然史博物館)



潮が引くと、大和川河口にも干潟が広がります

## 大和川の自然 ～きたない川?にもこんなんいるで～



全国的に減少が懸念されているメダカも大和川では健在でした

日時 5/17～6/21の毎週木曜日、19:00～21:00 全6回

場所 総合生涯学習センター

(地下鉄各線・阪急・阪神「梅田」, JR「北新地」「大阪」)

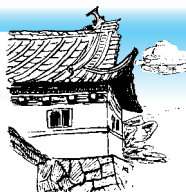
定員 50名(多数抽選)

費用 無料(ただしテキスト代として800円)

申込 往復はがき、FAXまたはインターネットで、<必要事項>と年齢を記入し、下記までお申込みください。〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-500 総合生涯学習センター「大和川」係  
電話:06-6345-5004 FAX:06-6345-5019

締切 5/10(木)必着

このコーナーでは「うちのイチ押し」「親子でなにわ新発見」「人権啓発」の3つの読み物を順番に掲載しています。次回5月号は「親子でなにわ新発見!(長居植物園)」です。次回の「うちのイチ押し!」は7月号の掲載です。



## おおさか歴史探訪①

大阪の史蹟や歴史資料を毎月連続でご紹介します。

### 大阪の寺町



大阪には大阪城を挟んで北と南に寺町があります。北は天満寺町といい、現在の地下鉄南森町の少し北で、東西に寺院が並んでいます。南は空堀の南側で、上町筋と谷町筋に添って四天王寺までの間にひろがっています。

このうち南側の寺町は戦災を免れたところも多く、江戸時代の建物がまともに残っているところもあります。中でも生国魂神社から南側の、下寺町、生玉町、生玉寺町あたりは特に古い建物がよく残されていて、大阪という大都市の中心部にあって、かつての歴史的景観をよく今に伝えていきます。このあたりは上町台地という標高10～15メートルの高台に位置しており、そこから望む夕陽は絶景で、史料にもいくつかの眺望ポイントが紹介されています。また上町台地の西側斜面には緑地がよく残り、大阪市内にあって数少ない自然林にちかい樹林帯が続きます。

歴史的景観と自然の緑に包まれたこれらの地域を訪れた方から、大阪市内にもこんなところがあったのか、といった感想がよく寄せられます。

(文・写真:教育委員会文化財保護課)



寺町の背後に続く上町台地西斜面の樹林帯

